

【 身体拘束ゼロ宣言：尊厳を守るケアへの取り組み 】

私たちは、身体拘束が患者さまの尊厳を傷つけ、身体機能低下をもたらす危険性があることを深く認識し、すべての人の人格が尊重された患者様本位のより良い医療・看護を実現するために、身体拘束ゼロに向けて、全力で取り組んでいます。

1. 身体拘束廃止を医師・看護師が決意し、責任をもって取り組んでいます。

★身体拘束最小化に向けて病院全体で取り組み、院内掲示・ウェブサイトに掲載

2. 『身体拘束廃止委員会』を設置し、より良いケアの実現に向けた運営をしています。

★院内に身体拘束最小化対策に取り組む「身体抑制廃止委員会」を設置しており、身体拘束の最小化が図られているかを検討、監査の場としている。

3. 身体拘束とは何かを常に考え、拘束のないケアの実践に努めます。

4. 身体拘束を限りなくゼロに近づけるよう努めます。

5. 身体拘束廃止について多職種連携を図り、問題意識を共有しています。

★多職種：医師・看護師・介護士・看護補助者・理学療法士・薬剤師等

6. 患者様・ご家族と、身体拘束廃止について協力関係を築いていきます。

7. 最新の知識と技術を職員が学ぶ機会を設け、積極的に取り組んでいます。

★年間研修計画に基づく定期的な教育・研修(年 2 回以上開催)の実施

8. 常にかれた医療・看護・介護を目指します。

